

まつえ環境市民会議

「まつえ環境市民会議」は、市民・事業者・行政が協力して身近な環境活動を実践するため、平成19年2月に設立された市民組織です。

まつえ環境市民会議4つの活動テーマ

自然環境の保全

- ✓ 水質保全
- ✓ 里山保全
- ✓ 自然とのふれあい
- ✓ 生物多様性の確保

ごみの減量

- ✓ 清掃活動
- ✓ ごみの減量・分別
- ✓ 食品ロス削減
- ✓ 脱プラスチック

地球温暖化防止

- ✓ 二酸化炭素の排出抑制・吸収促進
- ✓ 省エネ・再生可能エネルギーの推進

環境教育の推進

- ✓ 環境情報の提供
- ✓ 歴史・文化的な資源を活用したイベント・学習会の開催



松江市環境センターのグリーンカーテン(令和5年8月)

ごあいさつ

まつえ環境市民会議 代表 佐藤 尚士



コロナ禍の3年間、まつえ環境市民会議の活動も様々な制約を受けてまいりました。しかしこの間も、会員の皆様は里山保全や海岸漂着ごみ回収などの地道な活動に精力的に取り組まれたことに對し、深く敬意を表します。

私は、昨年9月に前代表の急逝により松江建設業協会会長の立場で急遽代表に就任いたしました。短期間のため熟慮に欠けた点はあるかもしれませんが、私なりに本会議の運営についてのスタンスを述べさせていただきます。

本会議は、様々な団体により構成されており、それぞれの団体が重要な活動をなされています。その一つ一つの団体に輝いていただくことが、我々の役割ではないかと思っています。それぞれの団体がそれぞれの活動において、一つの団体ではなかなかパワーが出てこない、そんなときに皆さんと一緒に活動することによって、より良い活動になるようお手伝いをしっかり行なっていきたくと考えています。

コロナ前は様々なイベントを行い、それぞれの団体が何を

行っているのか分かりやすく、横のつながりもあったわけですが、残念ながらコロナ禍で少し欠けていますので、今後は皆さんから様々なご意見や情報をお寄せいただき、それぞれの団体の活動情報を積極的に紹介していくとともに、コロナ禍前の状態を何としても取り戻していきたくと思っています。

また、会員数が個人と法人・団体併せて、近年350前後で推移してきています。これから地球温暖化対策やSDGsの取り組みなど、市民、事業者、行政が手を取り合い積極的に推進するためには、本会議のパワーが今まで以上に必要となってきましたので、会員増強の取り組みも重要な課題と認識しています。

コロナ禍の数年を取り戻すことは容易ではないかもしれませんが、これから数年かけて皆さんと一緒に精一杯行いますので、よろしくお願いいたします。

会員募集中



まつえ環境市民会議

環境問題について、一緒に考え活動してみませんか／

年会費

個人会員1,000円／1口
団体会員2,000円／1口
法人会員3,000円／1口

振込先

山陰合同銀行松江市役所出張所
(普通) 3608893
まつえ環境市民会議

「まつえ環境市民会議」は、みなさんの年会費で運営されます。

会員拡大にご協力ください

申し込みは

〈事務局〉TEL.25-0881まで
申込書はまつえ環境市民会議ホームページからダウンロードできます。



令和5年度

通常総会開催

と き 令和5年7月5日(水)

ところ 松江市民活動センター多目的ホール



令和5年度通常総会を上定昭仁松江市長を来賓に迎え、会員87名出席のもと開催し、令和4年度の事業報告と決算、令和5年度の事業計画と予算、役員体制がそれぞれ承認されました。

総会後の環境講演会においては、東京大学公共政策大学院特任教授の有馬純氏より「地球温暖化をめぐる内外情勢と日本の課題」と題して講演をしていただきました。



上定 松江市長

令和5年度

役員体制



〈代表〉

佐藤尚士(松江建設業協会)

〈副代表〉

坂本拓三(松江商工会議所)

万代悦子(松江市連合婦人会)

池田太持(松江市公民館館長会)

三島 剛(島根県農業協同組合くにびき地区本部)

〈委員〉

石原孝子(島根県地球温暖化防止活動推進員)

竹内保雄(松江市町内会・自治会連合会)

田邊東明(山陰中央テレビジョン放送株式会社)

野田真幹(NPO法人 もりふれ倶楽部)

幡垣修次(松江市生活環境保全推進員)

落合 彰(松江青年会議所)

松本一郎(国立大学法人 島根大学)

藤井礼子(くにびきエコクラブ)

山崎美智子(松江市高齢者クラブ連合会)

吉岡和男(松江森林組合)

〈会計監事〉

白鹿勝也(松江商工会議所)

長岡和志(松江市川津公民館)

令和5年度

事業計画



テーマ	事業名	概要	備考
自然環境の保全	里山保全(楽山公園整備)	楽山公園の遊歩道に竹を繁茂させないよう若竹の伐採整備(筍ほりと交流会)	5月5日
	里山保全(植樹活動)	忌部水源の森づくり交流会に参加	11月下旬
	水質保全の活動	宍道湖岸のヨシ刈り取り活動に参加	2月中旬
地球温暖化防止	グリーンカーテン運動(省エネ啓発活動)	公共施設、事業所、市民へゴーヤ苗配布(16,000本) グリーンカーテン写真コンテスト	5月18日 募集8月～9月
	省エネチャレンジシートの取り組み	家庭で取り組む夏休み省エネチャレンジシート実施(市内全小学4年生対象)	7月～8月
	クールチョイス啓発活動	街頭啓発活動	6月、12月
	エコドライブ啓発活動	街頭啓発活動とエコドライブの疑似体験教室開催	11月
ごみの減量	宍道湖・中海一斉清掃	宍道湖・中海一斉の清掃活動に参加	6月11日
	環境美化の啓発	水郷祭でゴミ持ち帰り啓発と早朝清掃活動	8月6日・7日
	海ごみゼロ大作戦in美保関町	美保関町の海岸で清掃ボランティア、環境学習会等を開催	8月19日
	漂着ごみ回収(古浦海水浴場)	海岸に漂着したごみの回収活動を地元ボランティア団体と協力して実施	10月7日
	食ロス、ごみ減量の活動	街頭啓発活動	6月、12月
環境教育の推進	国宝松江城から学ぶ環境学習会	千鳥のお堀水辺の生き物自然観察会 松江城探検ウォークラリー(歴史と環境保全) 松江城歴史遊覧船での学習	9月16日 10月28日 11月7日
	環境について楽しく学ぶ親子体験教室	夏休みなどに5回企画(省エネ学習と工作教室、海辺での体験学習とワークショップなど)	7月～8月、12月
	環境講演会	地球温暖化をめぐる内外情勢と日本の課題	7月5日
	各種環境イベントの活動	各種イベントに共催での参加	通年
組織活動	組織強化の推進、情報発信	組織強化に向けた情報の発信、会員拡大の推進活動 ホームページ、フェイスブックなど多様な媒体を活用した情報発信 会報の発行 / 市政広報での広報活動	通年

まつえ循環プロジェクト

Matsue Junkan Project

まつえ環境クリエイティブディレクター

新羅 慎二



松江市

ミュージシャン / 湘南乃風「若旦那」

ミュージシャンで環境問題にも取り組む新羅慎二氏と松江市がタッグを組み、地球環境にやさしい循環型社会の実現に向けた活動を展開するプロジェクトです。新羅氏のクリエイティブな発想のもとに資源循環の魅力や大切さを発信することで、松江市の豊かな自然環境を後世に引き継ぎ、「世界に誇る環境主都まつえ」の実現を目指しています。

おもな 取り組み

- R5. 9. 9 まつえファーマーズマーケット (松江市役所dテラス)
- R5. 6. 17 循環トーク (松江市役所dテラス)
- R5. 5. 13 まつえファーマーズマーケット (岸公園)
- R4. 11. 5 まつえファーマーズマーケット (岸公園)
- R4. 9. 3 まつえファーマーズマーケット (岸公園)

※「まつえファーマーズマーケット」では、生産品の販売のほかワークショップやイベントを通じて、この活動を広く知ってもらう場を設けています。



まつえファーマーズマーケット (松江市役所dテラス)



循環トーク (トークセッション)



まつえファーマーズマーケット (岸公園)



循環トーク (アコースティックLIVE)



ヨシストローのワークショップ

PROFILE



新羅 慎二

に5 しんじ

レゲエグループ「湘南乃風」で「若旦那」として活躍するミュージシャン。本名の新羅慎二としてソロ活動を行いながら環境活動にも取り組む。令和4年4月に松江市と「まつえ循環プロジェクト」を進める協定を結び、「まつえ環境クリエイティブディレクター」に就任。令和5年3月にまつえ環境市民会議のアドバイザーに任命。

まつえ環境市民会議
アドバイザー

新羅慎二 コラム 「循環型社会」

僕はこのシステムについて知ったのは決して環境を危惧してからの気づきではなく、江戸の町人文化が大好きで、落語や江戸を題材にした書物を読むようになってからです。江戸は完全に循環型社会でした。灰一つでもお金になった時代です。そして、人から排出される汚物すらも長屋の敷金礼金としてとても重要なモノでした。今では考えられないですね。

何故そのような文化が生まれたかという、この時代の人々が気高かった訳でもなく、鎖国という国際政治のあり方からの思想でした。

これは周知の話ですが、日本は資源国ではありません。わずかな資源の中であんなにかやらないといけなかったのです。それでも江戸は230年という膨大な年月が流れました。この長い時期はまだ我々が明治から令和に至るまでよりも長い年月です。この年月によって循環型が完全にシステム化されました。明治以降、無いものは有るところから取れば良い。その西洋の思想に方向転換し、日本は戦争へと、そして今は貿易へと転換されました。資源が枯渇し、世界全体が江戸のような捨てるものがないという状態になっている今、ヒントは江戸からなんじゃないでしょうか。

ただ、思想から変えなければいけません。お金や物質への欲から捨てなきゃいけないんじゃないでしょうか。そこから循環型社会の議論は始めませんか？

この1年の活動から

令和4年10月

「グリーンのカートン」

フォトコンテスト(2022年最優秀賞)



令和4年10月29日(土)

第2回松江城探検ウォークラリー



令和5年3月

COOL CHOICEの啓発動画作成
(YouTube配信)



令和5年3月6日(月)

新羅慎二さんまつえ環境市民会議
のアドバイザー就任



令和5年3月18日(土)

親子でまなぶカーボンニュートラル
(市民セミナー)



令和5年5日(金・祝)

里山保全

(タケノコを掘ってタケノコご飯を食べよう)



令和5年5月18日(木)

ゴーヤ苗の無料配布

(グリーンのカートン運動)



令和4年12月/令和5年6月

街頭での啓発活動

(食品ロス削減) (COOL CHOICE)



令和5年6月11日(日)

中海・宍道湖一斉清掃



令和5年7月~8月、12月(5回)

環境について楽しく学ぶ

親子体験教室



令和5年8月19日(土)

まつえ海ごみゼロ大作戦
in 美保関町



令和5年9月25日(月)

環境保護活動に対する寄付金受贈式
(東京海上日動火災保険株式会社山陰支店様)



編集
後記

コロナ禍もあり、2年11か月ぶりの発行となりました。今後は当会議の紹介パンフレットも兼ねた形で定期的に発行してまいります。最後に、長きにわたって「まつえ環境市民会議」の代表を務められ、昨年4月27日に永眠された瀬崎輝幸さんには、松江市民の環境意識の啓発・醸成にご尽力いただいたことに深く感謝を申し上げ、ご冥福をお祈りいたします。



まつえ環境市民会議